

地域アクションプラン追加・削除・統合予定項目

【安芸地域】

■追加

NO.	アクションプラン名	事業概要
1	ポンカンを活用した新商品の開発と販路の拡大（東洋町） 事業主体：甲浦の果樹仲間	東洋町の特産品であるポンカンを活用した新商品の開発と既存商品を含めた販路の拡大を目指す。
2	「安田（あんだ）の白い夢」の販路の拡大と新商品の開発（安田町） 事業主体：安田町、(有)デトワール 等	マンゴー大福「安田（あんだ）の白い夢」の販売拡大と併せて、町内で生産される農産物（イチジク、アスパラ等）を活用した新たな商品を企画開発し、県外を中心に販路開拓を行なって、雇用の確保と生産者の所得の向上を図る。
3	エディブルフラワーを活用した新商品の開発と販路の拡大（芸西村） 事業主体：第2香南くろしお園	食べられる花エディブルフラワーの販路の拡大と認知度アップを図るとともに、新たな加工品の開発による販売促進や経営体制の強化を図り、障害者の所得の向上を目指す。
4	白下糖の生産の拡大と新商品の開発（芸西村） 事業主体：芸西村、芸西村製糖組合、生産者グループ 等	伝統ある芸西村の白下糖づくりを伝承し、白下糖の生産拡大と新たな加工品の開発・販売を促進することにより、白下糖のブランド化（認知度アップ・他地域黒糖との差別化）と地域生産者の所得の向上を図る。
5	完全天日塩の生産の拡大と観光への活用（田野町） 事業主体：田野町、田野屋塩二郎	完全天日塩の生産の拡大を図りながら、新規就業者を確保・育成し、生産組織体制づくりを行なう。また、体験交流施設整備を検討するなど、塩づくり体験を観光メニュー化し、交流人口の拡大を図る。
6	中芸地区における広域観光の推進（奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村） 事業主体：中芸観光協議会（仮称）、中芸商工会 等	官民が協働して、地域内にある観光資源を磨きあげ、魅力ある滞在型・体験型旅行商品作りを行いながら、観光客の増加を図り、地域の経済の活性化を推進する。
7	安田中山地区の活性化プロジェクト（安田町） 事業主体：安田町、中山を元気にする会等	地区住民主体で「中山元気プラン（仮称）」の策定を行い、地域資源である自然薯の生産拡大に取り組み、また地域の資源を活用して交流人口の拡大を図るなど、中山地区を元気にする取組を推進する。

■削除

NO.	アクションプラン名	削除する理由
1	環境保全型農業の推進 (馬路村以外の全域) 事業主体：JA土佐あき他	全県的な産業成長戦略の位置付けのもとに支援を継続していく。
2	西山きんとき芋販売促進事業(室戸市) 事業主体：JA土佐あき(吉良川支所芋部会)	加工品については、目標3品目に対し4品目を達成。単独での加工施設建設は困難であり、今後はキラメッセを核とした加工の取り組みに統合の考え。栽培指導については、引き続き普及事業の中で県支援が得られる。
3	特産品「イチジク」による地域の活性化 (奈半利町) 事業主体：奈半利町、JA土佐あき(奈半利支所)	加工品については、目標の3アイテムを達成。しかし、新規栽培者が増えず面積拡大が頭打ちの状態。今後も増反が見込まれておらず、現時点では、新たな事業展開が見込まれないため。県の栽培指導等については、普及活動の中で継続される。
4	林業再生事業(安芸地域全域) 事業主体：各森林組合	全県的な産業成長戦略の位置付けのもとに支援を継続していく。
5	「加領郷」ブランドによる地域の活性化 (奈半利町) 事業主体：高知県漁協(加領郷支所)	H23.7に、活動方針を「利益を目的とした事業ではなく、地域振興を目的とした事業方針とする」ことが確認されており、現在の活動は女性部が中心の地域活性化といったレベルになっている。現時点では、新たな事業展開が見込めないため。通常の漁業指導所、地域づくりでの支援は継続される。
6	河川の周年利用による地域の活性化 (奈半利町、北川村) 事業主体：奈半利川淡水漁協	全県的な産業成長戦略の位置付けのもとに支援を継続していく。
7	ダイビングの受け皿づくりによる交流人口の拡大 事業主体：未定(漁協を想定)	室戸市のダイビング事業と連動した取り組みを目指していたが、事業主体が決まらないため、次期計画への継続は行わない。

統合

NO.	アクションプラン名	項目としては残さず統合とした理由
1	<p>スジアオノリのブランド化の取組 (室戸市) 事業主体：高知県漁協（高岡支所）</p>	<p>生産性の向上や新たな販売先を確保するなど H21年度から収支が黒字化するなど、大幅な経営改善が図られた。H24年度以降は新たな投資はしない方向であるため。（現状でできる限りの増産）</p> <p>「13 海洋深層水の利用拡大」へ統合</p>
2	<p>「シレストむろと」を核とした健康観光産業 事業主体：次世代の湯治場協議会</p>	<p>健康増進プログラムづくり、観光体験メニューづくり（19プラン）個人向けのモニターツアー（延10人）の実施などを行い旅行商品化に取り組んだが、ニーズが少なく大きな成果につながらなかった。（H21～22 体験泊数 282泊 内長期滞在 240泊） 今後はジオ関連施設としての活用を図っていく</p> <p>「19 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興」へ統合</p>
3	<p>「ふるさと海岸」を中心とする海洋資源を活用した観光事業 事業主体：奈半利町他</p>	<p>シュノーケリング等の拠点施設を整備（海浜センターH22.5）体験プログラムを構築。今後は東部の体験メニュー等との組み合わせによる集客の段階である。</p> <p>「18 安芸地域における広域観光の振興」へ統合</p>
4	<p>古民家と地場産品販売施設等を活かした交流人口の拡大 事業主体：安田町</p>	<p>古民家（旧柏原邸、旧市川医院を修復（H21～22））「安田まちなみ交流館・和み」としてオープン（H22.9） 観光情報発信、雛祭りのメイン会場等安田町の拠点として、また企画展を開催するなど活用している。（登録有形文化財 H23.12.9 答申） 地場産品の開発の方向に注力する方向で次期テーマを新設することとしており、その一環で取り組みを継続していく。</p> <p>「18 安芸地域における広域観光の振興」へ統合</p>
5	<p>龍馬伝を活かした観光振興 事業主体：北川村、龍馬伝・慎太郎推進協議会</p>	<p>中岡慎太郎館をリニューアルオープン（H22.1）し、企画展等を開催し、集客増を図ってきている。県東部の素材であり歴史分野の核的施設として、営業面での展開を継続していく。</p> <p>「18 安芸地域における広域観光の振興」へ統合</p>

「ポンカンを活用した商品開発及び販路拡大」

(市町村名：東洋町、実施主体：甲浦の果樹仲間)

東洋町のポンカンを取り巻く状況

【現況】

- ・高知県は全国有数のポンカン生産地(H21:全国3位)
- ・東洋町のポンカンの生産量は県内1位(H22:1,100トン)

【課題】

- ・国内市場におけるポンカン需要、販売価格の低迷(全国出荷量H10:34,285トン→H21:26,771.トン)
- ・生産者の高齢化、後継者不足、知名度

ポンカンを使って地域を元気にできないだろうか？



甲浦の果樹仲間(ポンカン生産者4者で構成)

【団体の目指す方向】ポンカンを活用した加工品を開発販売し、農業と地域の活性化を目指す。

【商品名】ポンカンドリンク、ポンカンドレッシング
【販売場所】海の駅東洋町、まるごと高知 など

甲浦の果樹仲間の取り組みをさらに拡大し、生産者の所得向上を図る

取り組み内容



- (1) 新商品開発
- (2) 既存商品の改良
- (3) 販路の拡大
 - ① 販売戦略の検討
 - ② インターネット販売
 - ③ PR活動
 - ④ 販促グッズの製作 など
- (4) 関係団体(商工会等)との連携

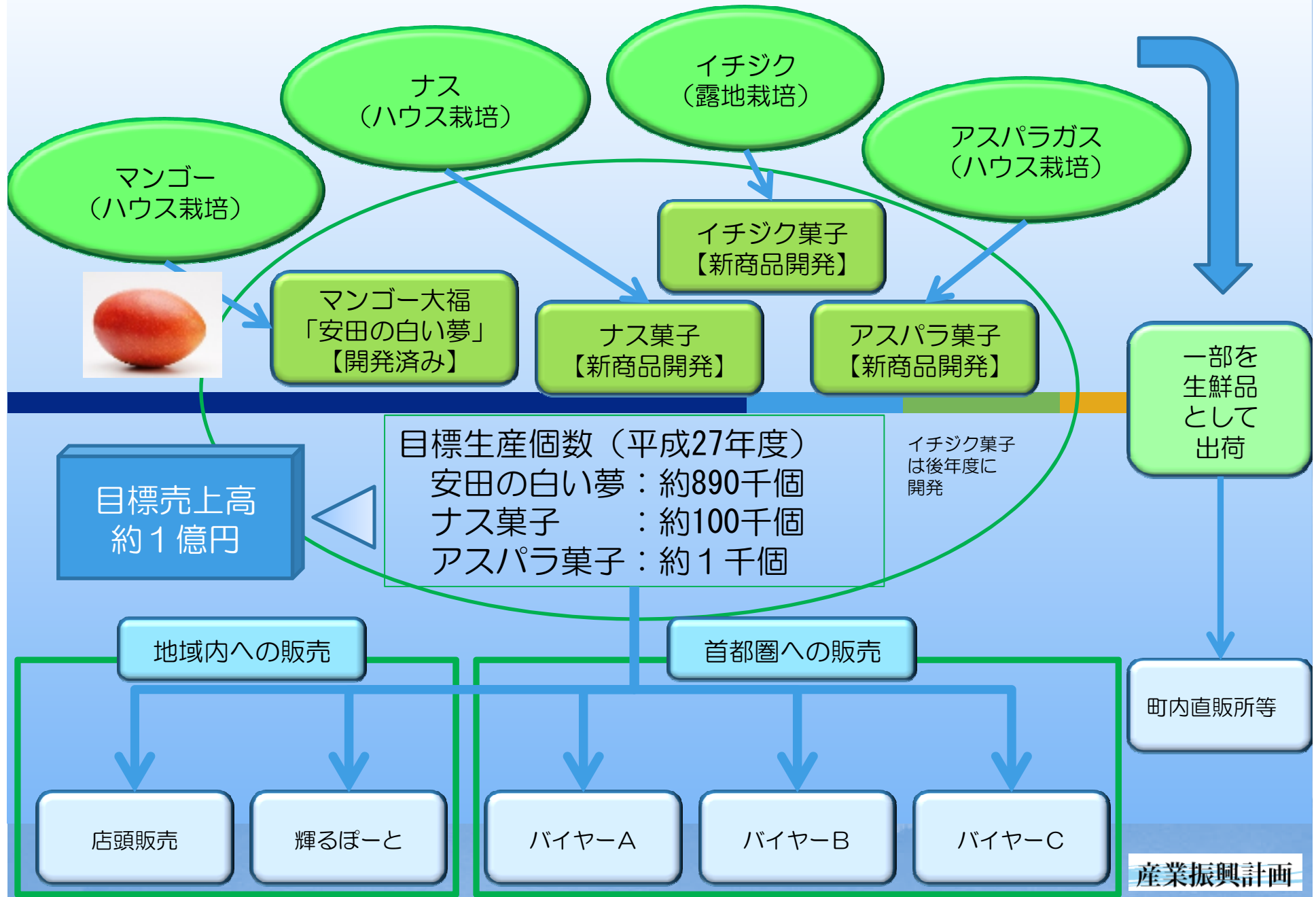
平成27年度までの目標

【平成22年度】
商品アイテム数: 2
商品販売数: 1,807本



【平成27年度】
商品アイテム数: 4
商品販売数: 5,000本

【安田町】「安田(あんた)の白い夢」の販路拡大と新商品の開発



エディブルフラワーを活用した新商品の開発と販路の拡大 (事業主体：第2香南くろしお園)

第2香南くろしお園 (障害者自立支援センター)

- 利用者(通所者): 15名
- 作業内容: 花卉(エディブル、野菜)の栽培
フラワーアレンジメントなど
- 栽培面積: ハウス2棟(540m²)

エディブルフラワー 販売等の状況

- 【現況】
- ・主に高知市内のホテルや結婚式場等を
中心に生花を納品
- 【課題】
- ・営業活動は指導員一人、広報不足
 - ・配送、納品が金・土曜日に集中
 - ・生花のみで2次加工商品がない

収益アップに向けた取組み

- 【今までの取組み】
- ・「商人塾」への参加
 - ・県内の主要なホテルや製菓業者への営業
 - ・加工場の導線見直し、冷蔵庫の整備
 - ・地域資源活用共有会議での検討 他
- 【今後の展望】
- ・生花の販路拡大、県内での認知度アップ
 - ・2次加工品の開発、販売
 - ・販路拡大に向けて促販グッズ等の作製
 - ・加工場等の施設の充実

商人塾等での成果

芸西村、芸西商工会、地域資源共有会議等の支援

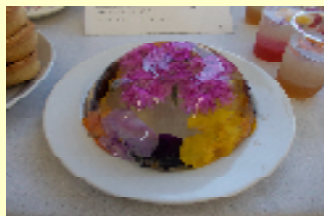
加工品開発

- ・花塩
- ・花砂糖
- ・花茶
- ・入浴剤 他



生花販売 の強化

- ・販路開拓
- ・販売代理人
- ・料理、スイーツの提案
- ・ネット販売 等



認知度の アップ

- ・パンフレットの作成
- ・ホームページの立上げ
- ・ネット販売システムの構築
- ・宣伝活動の強化 等



生産施設の機能強化 販売促進

売上増
エディブル活用料理の拡がり

利用者の工賃アップ
利用者の自立

白下糖の生産の拡大と新商品の開発

(事業主体：芸西村製糖組合、芸西村)

白下糖の生産状況

【現況】

- ・製糖組合(5名)で、約2,000kgを生産(H22年度)
- ・製品は主に伝承館での販売や製菓業者への提供

【課題】

- ・組合員の高齢化に伴い伝統技術の継承者(後継者)の育成
- ・白下糖を活用した新商品の開発
- ・作付面積の拡大

芸西村、芸西商工会
地域資源共有会議等の支援

今後の展望・取組み

①作付面積の拡大



- ・遊休農地の活用
- ・オーナー制度の導入



・サトウキビ収穫量
20t → 40t

②人材の育成



- ・人材の確保
- ・製糖技術の習得
- ・研修等への参加



・後継者育成
2名

③白下糖の品質向

- ・味で勝負の製品づくり
- ・成分分析による区別
- ・アドバイザーの導入

④新商品の企画開発



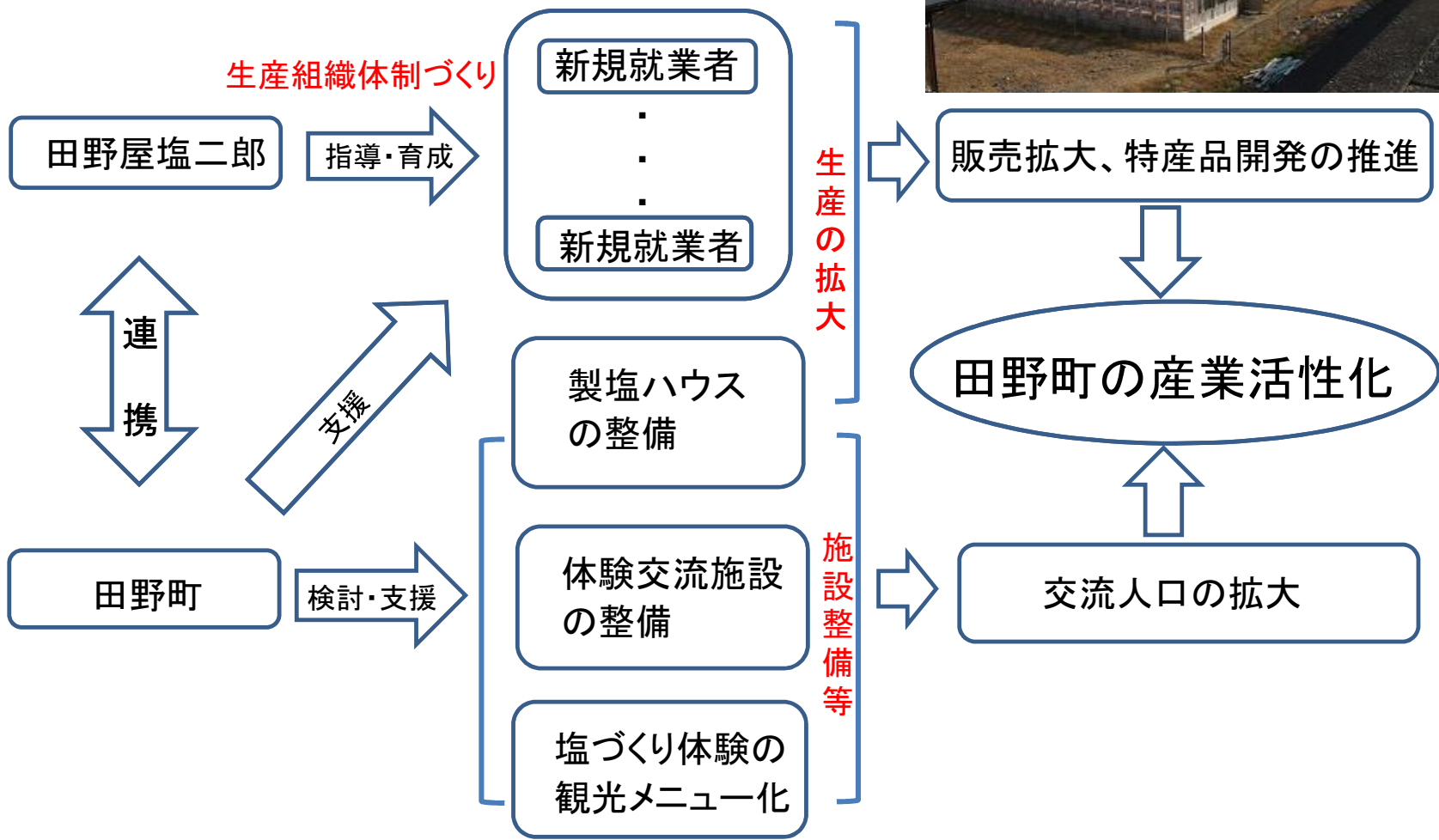
- ・商品開発
- ・販路開拓、販売促進



生産施設(加エライン)の機能強化検討・整備 販売促進

芸西・白下糖の認知度アップ 生産者の所得向上

完全天日塩の生産の拡大と観光への活用



中芸地区における広域観光の推進に向けた体制整備

民間と行政が連携し、「モネの庭」や「魚梁瀬森林鉄道遺産」をはじめ新たな地域資源を磨きあげ、地域全体の魅力を高めながら、それらを有機的に結び付けた体験型や滞在型の観光商品売り出ししていく体制を整備

中芸広域連合

田野町

奈半利町

安田町

北川村

馬路村

【活動】

・観光拠点の磨きあげ 等

活動は
連携して



中芸観光協議会(仮称)

- ・民間委員等20名以内で構成
- ・協議会は、中芸商工会と連携して運営する方向

● <事務局スタッフ2名>

財政支援



【活動】

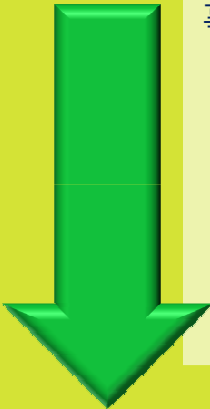
- ・中芸観光の窓口
- ・旅行会社等への旅行商品の提案
- ・観光情報の発信
- ・ガイドの組織化や養成
- ・観光イベントの企画 等

【安田中山地区の活性化プロジェクト】

地域活性化の
トータルプラン
「中山元気プラン」
(仮称)



事業主体
・安田町
・中山を元気にする会
・安田川漁協
・自然薯生産組合
・味工房じねん
・中山合同女性部
など



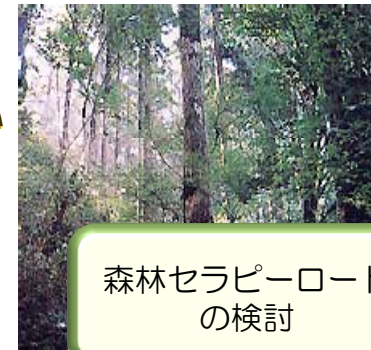
「せせらぎの郷小川」
および
「旧中山小・中学校」
を中核施設に



「安田川アユおどる清流キャンプ場」
の活用



安田川
清流



森林セラピーロード
の検討



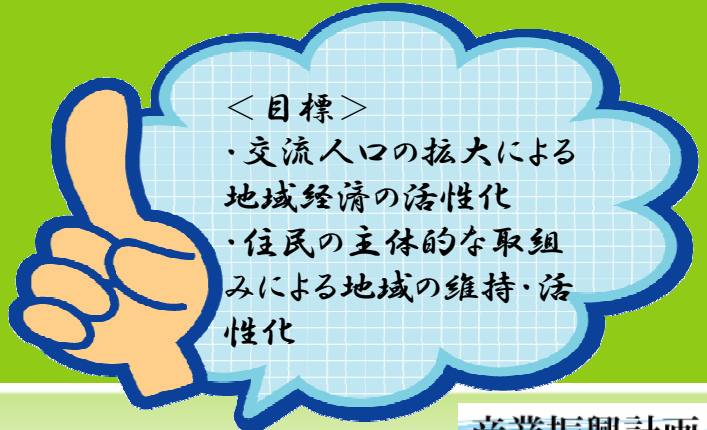
自然薯の
ブランド化



連携



新商品開発



<目標>
・交流人口の拡大による
地域経済の活性化
・住民の主体的な取組
みによる地域の維持・活
性化